

保護者様

玉名市立八嘉小学校  
校長 東山 幸輔

### 令和5年度学校評価保護者アンケートの結果のお知らせ

仲春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

さて、1月に実施しました学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果をお知らせいたします。皆様からいただきました評価等は、次年度の教育活動に生かし、児童の健やかな成長のために、全職員で努力して参ります。今後とも保護者の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

#### 1 結果のまとめ

豊かな心の育成 (心づくり)	達成率(4段階評価の「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた回答の割合)が90%以上だったのは、「楽しく学校生活をおくっている」「思いやりの心や人権意識が育っている」「学校のきまりやルールを守って生活している」でした。 一方、課題が見られた項目は「あいさつや返事がきちんとできる」で、4段階評価で2.86でした。
	対策 あいさつの向上は、玉南中校区小中一貫教育の共通実践項目で、日常の指導や中学生と一緒にいるあいさつ運動などに継続的に取り組んできました。学校では、登校時や授業前後、帰りのあいさつなど集団ではできていますが、日常の個人での主体的なあいさつについては、個人差があります。自分からあいさつをし、積極的にコミュニケーションを図れるように、人間関係を作る視点から、あいさつのよさや意義を実感できる経験を今後も増やしていきます。
確かな学力の育成 (学びづくり)	「宿題等の家庭学習に取り組んでいる」と「進んで読書をしている」の項目で、昨年度を上回る評価をいただきました。 今年度、最も評価の数値が低かった項目が、昨年度と同様「進んで読書をしている」で、4段階評価は2.48でした。児童も2.94と低くなっています。学校では、定期的に本を借り、個人の貸出冊数目標をすでに達成している児童がほとんどですが、読書の習慣化までには至っていないことが分かりました。 また、「分かる・楽しい授業」の項目の数値が、昨年度よりも下がりました。
	対策 読書の習慣化については、図書室の定期的な活用や委員会による毎月のイベントを行い、児童が本に親しむ取組を行ってきました。図書の貸し出し冊数も増えていきますので、今後も継続していきます。また、児童に読書の楽しさ、良さを実感できる取組を継続的に行うとともに、メディアコントロールの力が身に付くよう、ご家庭と連携した取組を行っていきます。 「分かる・楽しい授業」については、基礎基本の着実な定着に向けて、各種学力調査等の結果を丁寧に分析し、授業改善等につなげることで児童の資質・能力を育成します。
健康・体力の向上 (健康づくり)	いずれの項目も、昨年度より高い評価を頂きました。ただ、達成率を見ますと、いずれも80%を下回る結果となっています。 特に、「進んで運動をしたり、体を動かしたりして体力を高めている」の項目については、達成率が70%を下回る結果となりました。
	対策 昨年度と比較すると給食をしっかりと食べる児童が増えました。登校時間についても、ほぼ、8時05分までには登校していますので、早起きの習慣が根付いていると感じます。 進んで運動し、体力を高めることについては、教科体育の時間に、遊具等を使ったサーキットレーニングを取り入れ、体力の向上を図ります。また、外遊びを呼びかけたり、健康委員会が定期的に主催する遊びの要素を含んだ体力向上のためのイベントを継続したりして、児童に運動や体を動かすことの楽しさや爽快感を味わわせる工夫を行います。
信頼される学校づくり	すべての項目で達成率が90%以上となりました。児童自身の評価も高い結果でした。 特に、「学校は、よく清掃され、美しい環境整備がなされている」と「学校の行事は、楽しく意義あるものになっている」「お便りやホームページで学校の様子を知らせている」が高い評価でした。
	対策 今年度は、昨年度以上に家庭や地域と協働した取組を再開できました。地域学校協働活動推進員の協力を得ながら、多くの地域の方々をゲストティーチャーとして学校へお招きすることができ、体験活動をはじめとする様々な教育活動への支援を行っていただきました。校内の環境整備においても保護者の方々をはじめ、地域の方々にご協力いただきました。次年度は、保護者や地域の皆様との連携・協働をさらに深め、地域とともにある学校づくりを推進することで、児童に「共感力」「自進力」「やりぬく力」を身に付けていきたいと考えています。

※裏面に集計結果を掲載しています。